

施策・指標マップ



目標値一覧

分類 B:目標 C:目的	指標	対象年齢	現 状		目 標 値	
			値	出典	2020年度 (中間年)	2023年度 (最終年)
B	第3次大阪府健康増進計画での目標値	—	第3次大阪府健康増進計画で評価します			
B	心血管疾患救急搬送患者における搬送困難患者数	—	25,426 件 (平成 27 年)	消防庁「救急救助の現況」	減少	減少
B	各二次医療圏で設定した取組※	—	各二次医療圏の保健医療協議会等で評価します			
C	心血管疾患による年齢調整死亡率(人口 10 万対)	—	男性 72.9 女性 37.6 (平成 27 年)	厚生労働省「人口動態統計」	—	男性 67.6 女性 33.1

※第9章「二次医療圏における医療体制」参照

《数値目標》

目標項目	基準値	現状値	目標値 (R5)	備考
目指す姿 (分野アウトカム)				
脳心疾患 (高血圧症性のものを除く) 受療率 (人口10万対)	—	入院 48.0 外来 104.0	減少	中間見直し時に追加
脳虚血性心疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対) の減少	—	男性 25.7	減少	中間見直し時に「急性心筋梗塞」から変更
	—	女性 11.5		
脳心不全の再入院率 (半年後)	—	16.0%	減少	中間見直し時に追加
取組の方向性 (中間アウトカム)				
脳特定健康診査受診率【再掲】	—	58.4%	70%以上	中間見直し時に追加
脳特定保健指導実施率【再掲】	—	26.9%	45%以上	中間見直し時に追加
脳急性心筋梗塞患者の来院時からPCI施行までの所要時間が90分以内の患者の割合	—	56.7%	増加	中間見直し時に追加
心血管リハビリテーションが実施可能な二次保健医療圏域の増加	6圏域	6圏域	全圏域	—

ロジックモデル



心筋梗塞等の心血管疾患

病期	施策	再掲	施策効果	再掲	(最終) 目的
予防	1 市町及び保険者が行う保健指導の充実 関連データ 特定保健指導対象者数・修了者数・割合	再掲 □ ↑	24 心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防 関連データ 虚血性心疾患により救急搬送された患者数	再掲 □ ↓	30 心筋梗塞等の心血管疾患を早期に予防・対応し、心血管疾患の重症化・死亡を防ぐ 関連データ 年齢調整死亡率 ↓
	2 健康診断・健康検査の受診促進 関連データ 健康診断・健康検査の受診率	再掲 □ ↑			
	3 高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病等の基礎疾患及び危険因子の管理の推進 関連データ 喫煙率 禁煙指導を行っている医療機関数 ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 循環器系領域の一次診療を行う医療機関数	再掲 □ ↓ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↑			
	4 本人及び家族等患者の周囲にいる者に対する初期症状出現時における適切な対応方法の普及 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	再掲 □ ↑			
救護	5 本人及び家族等患者の周囲にいる者に対する初期症状出現時における適切な対応方法の普及 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	再掲 □ ↑	25 心筋梗塞等の心血管疾患を疑われる患者が地域で早期の治療が受けられる 関連データ 虚血性心疾患により救急搬送された患者数 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 虚血性心疾患により救急搬送された圏域外への搬送率	再掲 □ ↓ ↑ ↓ ↓	
	6 救急救命士の育成と資質の向上 関連データ 救急隊の救急救命士運用率	再掲 □ ↑			
	7 早期の治療開始に向けた救急搬送体制の整備 関連データ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	再掲 □ ↑			
	8 心血管疾患におけるメディカルコントロール体制の充実 関連データ MC協議会の開催回数	再掲 □ ↑			
急性期	9 各地域における心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療に対応できる体制の整備 関連データ 循環器内科医師数 心臓血管外科医師数 心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院数・病床数 心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数	再掲 □ ↑ ↑ ↑ ↑	26 患者の来院後速やかに初期治療を開始し、30分以内に専門的な治療を受けることができる 関連データ 急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数 来院後90分以内の冠動脈再開通達成率 虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数	再掲 □ ↑ ↑ ↑	
	10 専門的治療が実施できる体制の整備 関連データ 冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数 経皮的冠動脈形成術が実施可能な医療機関数 経皮的冠動脈ステント留置術が実施可能な医療機関数 大動脈瘤手術が実施可能な医療機関数	再掲 □ ↑ ↑ ↑ ↑			
	11 早期の治療開始に向けた救急搬送体制の整備 関連データ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	再掲 □ ↓			
	12 心血管疾患におけるメディカルコントロール体制の充実 関連データ MC協議会の開催回数	再掲 □ ↑			
	13 病期に応じたリハビリテーションの実施 関連データ 心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数	再掲 □ ↑			
	14 地域連携パスの導入など回復期リハビリテーション施設への円滑な移行のための体制整備 関連データ 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数	再掲 □ ↑ ↑			
			27 合併症予防や早期の自立に向けたリハビリテーションを受けることができる 関連データ 入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数 虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数	再掲 □ ↑ ↑	

回復期	15	病期に応じたリハビリテーションの実施 関連データ 心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数	再掲 ☑ ↑		28	合併症予防や早期の自立に向けたリハビリテーションを受けることができる 関連データ 入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数	再掲 ☑ ↑		31	心筋梗塞等の心血管疾患を発症しても適切な治療を受けることにより、日常生活の場に復帰できる 関連データ 退院患者平均在院日数 在宅等の生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合 年齢調整死亡率	↓ ↑ ↓			
	16	地域連携バスの導入など急性期施設及び慢性期施設との円滑な連携体制の整備 関連データ 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数	再掲 ☐ ↑ ↑			29	合併症予防や在宅療養を続けることができる 関連データ 外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数 虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数		再掲 ☐ ↑ ↑					
	17	再発予防のため基礎疾患・危険因子の管理等への対応 関連データ 喫煙率 禁煙指導を行っている医療機関数 ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 循環器系領域の一次診療を行う医療機関数	再掲 ☐ ↓ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↑				18		本人及び家族等患者の周囲にいる者に対する再発時における適切な対応方法の普及 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動		再掲 ☑ ↑			
	19	地域連携バスの導入など急性期施設等との円滑な連携体制の整備 関連データ 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に関する窓口を設置している医療機関数	再掲 ☐ ↑ ↑ ↑						20		再発予防のため、市町及び保険者が行う保健指導の充実 関連データ 特定保健指導対象者数・修了者数・割合		再掲 ☑ ↑	
20	再発予防のため、市町及び保険者が行う保健指導の充実 関連データ 特定保健指導対象者数・修了者数・割合	再掲 ☑ ↑		21				再発予防のため、健康診断・健康診査の受診促進 関連データ 健康診断・健康検査の受診率	再掲 ☑ ↑					
21	再発予防のため、健康診断・健康診査の受診促進 関連データ 健康診断・健康検査の受診率	再掲 ☑ ↑			22			再発予防のため基礎疾患・危険因子の管理等への対応 関連データ 喫煙率 禁煙指導を行っている医療機関数 ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 循環器系領域の一次診療を行う医療機関数	再掲 ☑ ↓ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↑					
22	在宅での療養支援の充実 関連データ 訪問診療を実施している診療所数・病院数 訪問看護事業所数 訪問薬剤指導を実施する薬局数	再掲 ☐ ↑ ↑ ↑												

・再掲している施策等は、再掲欄の☑で表示
 ・関連データの矢印は、当該データの方向性を示す

② 数値目標等の変更・追加

「退院患者平均在院日数（虚血性心疾患）」については、『全圏域で 11.6 以下』から『全圏域で 9.2 以下』に数値目標を変更します。※地域差を解消しつつ、一定水準を満たすことを目指し、目標を最新値における全国平均値以下に設定。

また、愛媛県循環器病対策推進計画との調和を図るため、「健康寿命」を関連データに追加し、令和 5 年までに全国平均『男性 72.1、女性 74.8 以上』とすることを数値目標とします。

上記以外の数値目標については、現行計画における数値目標を引き続き数値目標とします。

[健康寿命]

	全国	愛媛県	時点
健康寿命（男）	72.1	71.3	H28 年
健康寿命（女）	74.8	74.6	

(厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」)

[新設・変更する数値目標]

指標名	出典	変更前	変更後	時点
退院患者平均在院日数（虚血性心疾患）	患者調査	全圏域で 11.6 以下	全圏域で 9.2 以下	R5 年
健康寿命（男）	厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」	新規	72.1 以上	R5 年
健康寿命（女）			74.8 以上	

心筋梗塞等の心血管疾患

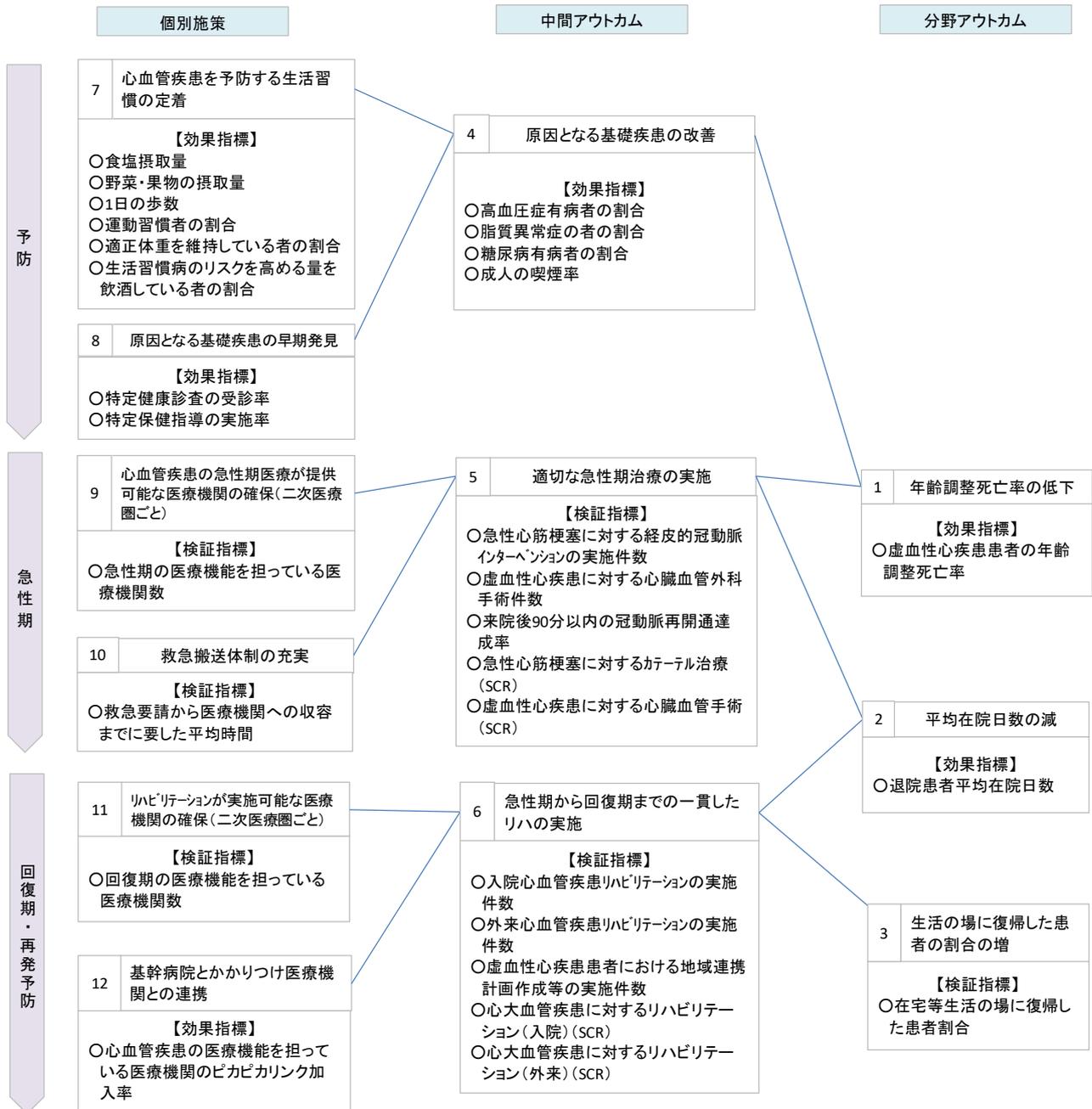
病期	施策	施策効果	(最終) 目的
予防	1 市町及び保険者が行う保健指導の充実 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 特定保健指導対象者数・修了者数・割合 ↑	24 心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 虚血性心疾患により救急搬送された患者数 ↓	30 心筋梗塞等の心血管疾患を早期に予防・対応し、心血管疾患の重症化・死をを防ぐ 関連データ 年齢調整死亡率 ↓ 健康寿命 ↑
	2 健康診断・健康診査の受診促進 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 健康診断・健康検査の受診率 ↑		
	3 高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病等の基礎疾患及び危険因子の管理の推進 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 喫煙率 ↓ 禁煙指導を行っている医療機関数 ↑ ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) ↓ 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 ↓ 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 ↓ 特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 ↓ 循環器系領域の一次診療を行う医療機関数 ↑		
	4 本人及び家族等患者の周囲にいる者に対する初期症状出現時における適切な対応方法の普及 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ↑		
救護	5 本人及び家族等患者の周囲にいる者に対する初期症状出現時における適切な対応方法の普及 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動 ↑	25 心筋梗塞等の心血管疾患を疑われる患者が地域で早期の治療が受けられる 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 虚血性心疾患により救急搬送された患者数 ↓ 心肺機能停止傷病者(心肺停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 ↑ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 ↓ 虚血性心疾患により救急搬送された圏域外への搬送率 ↓	
	6 救急救命士の育成と資質の向上 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 救急隊の救急救命士運用率 ↑		
	7 早期の治療開始に向けた救急搬送体制の整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 ↓		
	8 心血管疾患におけるメディカルコントロール体制の充実 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ MC協議会の開催回数 ↑		
急性期	9 各地域における心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療に対応できる体制の整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 循環器内科医師数 ↑ 心臓血管外科医師数 ↑ 心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院数・病床数 ↑ 心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数 ↑	26 患者の来院後速やかに初期治療を開始し、30分以内に専門的な治療を受けることができる 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数 ↑ 来院後90分以内の冠動脈再開通達成率 ↑ 虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数 ↑	
	10 専門的治療が実施できる体制の整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数 ↑ 経皮的冠動脈形成術が実施可能な医療機関数 ↑ 経皮的冠動脈ステント留置術が実施可能な医療機関数 ↑ 大動脈瘤手術が実施可能な医療機関数 ↑		
	11 早期の治療開始に向けた救急搬送体制の整備 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間 ↓		
	12 心血管疾患におけるメディカルコントロール体制の充実 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ MC協議会の開催回数 ↑		
	13 病期に応じたリハビリテーションの実施 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数 ↑		
	14 地域連携バスの導入など回復期リハビリテーション施設への円滑な移行のための体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 ↑ 急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数 ↑		27 合併症予防や早期の自立に向けたリハビリテーションを受けることができる 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数 ↑ 虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数 ↑

回復期	15	病期に応じたリハビリテーションの実施 関連データ 心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数	再掲 <input checked="" type="checkbox"/>	28	合併症予防や早期の自立に向けたリハビリテーションを受けることができる 関連データ 入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数 外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数 虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数	再掲 <input checked="" type="checkbox"/>	31	心筋梗塞等の心血管疾患を発症しても適切な治療を受けることにより、日常生活の場に復帰できる 関連データ 退院患者平均在院日数 在宅等の生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合 年齢調整死亡率 健康寿命								
	16	地域連携バスの導入など急性期施設及び慢性期施設との円滑な連携体制の整備 関連データ 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数	再掲 <input type="checkbox"/>						↑	↑	↑	↓	↑	↓	↑	
	17	再発予防のため基礎疾患・危険因子の管理等への対応 関連データ 喫煙率 禁煙指導を行っている医療機関数 ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 循環器系領域の一次診療を行う医療機関数	再掲 <input type="checkbox"/>						↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↑
	18	不特定多数の家族等を含む関係者に対する再発時における適切な対応方法の普及 関連データ 救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	再掲 <input checked="" type="checkbox"/>						↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

慢性期・再発予防	19	地域連携バスの導入など急性期施設等との円滑な連携体制の整備 関連データ 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数 循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に関する窓口を設置している医療機関数	再掲 <input type="checkbox"/>	↑	↑	↑	↑	↑			
	20	再発予防のため、市町及び保険者が行う保健指導の充実 関連データ 特定保健指導対象者数・修了者数・割合	再掲 <input type="checkbox"/>	↑	29	合併症予防や在宅療養を続けることができる 関連データ 外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数 虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数	再掲 <input type="checkbox"/>	↑	↑		
	21	再発予防のため、健康診断・健康診査の受診促進 関連データ 健康診断・健康検査の受診率	再掲 <input type="checkbox"/>	↑			↑				
	22	再発予防のため基礎疾患・危険因子の管理等への対応 関連データ 喫煙率 禁煙指導を行っている医療機関数 ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと) 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 特定健康診査受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 循環器系領域の一次診療を行う医療機関数	再掲 <input checked="" type="checkbox"/>	↓			↑	↓	↓	↓	↑
	23	在宅での療養支援の充実 関連データ 訪問診療を実施している診療所数・病院数 訪問看護事業所数 訪問薬剤指導を実施する薬局数	再掲 <input type="checkbox"/>	↑			↑	↑	↑		

・再掲している施策等は、再掲欄の✓で表示
 ・関連データの矢印は、当該データの方向性を示す

施策体系表



数値目標

【分野アウトカム】

指標		現状	目標
1	虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率 (人口動態特殊報告)	男性 14.8・女性 5.5 【全国】 男性 31.3・女性 11.8 (2015年)	全国で低い方から 5位以内を維持 (2023年)
2	退院患者平均在院日数 (患者調査)	9.2日 【全国】8.3日 (2014年)	8.3日 (2023年)
3	在宅等生活の場に復帰した患者割合 (患者調査)	93.2 【全国】92.9 (2014年)	-

【中間アウトカム】

指標		現状	目標
4	高血圧症有病者の割合 (特定健診データ)	総数 38.3% 男性 43.3%・女性 33.9% (2015年)	総数 25.2% 男性 27.9%・女性 22.2% (2022年)
	脂質異常症の者の割合 (特定健診データ)	総数 30.0% 男性 24.4%・女性 35.0% (2015年)	総数 16.7% 男性 14.1%・女性 19.5% (2022年)
	糖尿病有病者の割合 (特定健診データ)	総数 11.5% 男性 14.7%・女性 8.7% (2015年)	現状維持 (2022年)
	成人の喫煙率 (県民健康意識調査)	総数 18.1% 男性 32.4%・女性 6.1% (2016年)	総数 15.7% 男性 29.8%・女性 4.6% (2022年)
5	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈 インターベンションの人口 10 万人当 たり実施件数 (NDB)	県全体 120.1 中部 141.0、東部 29.6、 北部 116.7、西部 48.9、 南部 182.6 【全国】169.3 (2015年)	-
	虚血性心疾患に対する人口 10 万人当 たり人口心臓血管外科手術件数 (NDB)	県全体* 中部 7.1、東部 0.0、 北部 0.0、西部 0.0、南部* (2015年)	-

	来院後 90 分以内の冠動脈再開通達成率 (NDB)	県全体* 中部 71.6、東部*、 北部 55.9、西部*、南部 95 (2015 年)	-
	急性心筋梗塞に対するカテーテル治療 (SCR)	県全体 77.1 中部 97.4、東部 29.1、 北部 69.3、西部 60.5、 南部 83.2 (2015 年)	-
	虚血性心疾患に対する心臓血管手術 (SCR)	県全体 30.2 中部 59.8、東部 0、北部 0、 西部 0、南部 30.9 (2015 年)	-
	入院心疾患リハビリテーション の人口 10 万人当たり実施件数 (NDB)	県全体 134.9 中部 125.0、東部 60.1、 北部 146.6、西部 118.3、 南部 213.2 【全国】157.9 (2015 年)	-
	外来心疾患リハビリテーション の人口 10 万人当たり実施件数 (NDB)	県全体 48.9 中部 64.6、東部 0.0、 北部 72.6、西部 115.7、 南部 0.0 【全国】102.4 (2015 年)	-
6	虚血性心疾患患者における地域連携 計画作成等の実施件数 (NDB)	2016 年データから把握可能	-
	心大血管疾患に対するリハビリテーション(入院) (SCR)	県全体 97.3 中部 82.6、東部 47.1、 北部 118.1、西部 82.1、 南部 146.8 (2015 年)	-
	心大血管疾患に対するリハビリテーション(外来) (SCR)	県全体 45.3 中部 63.1、東部 0、 北部 66.1、西部 95.3、 南部 0 (2015 年)	-

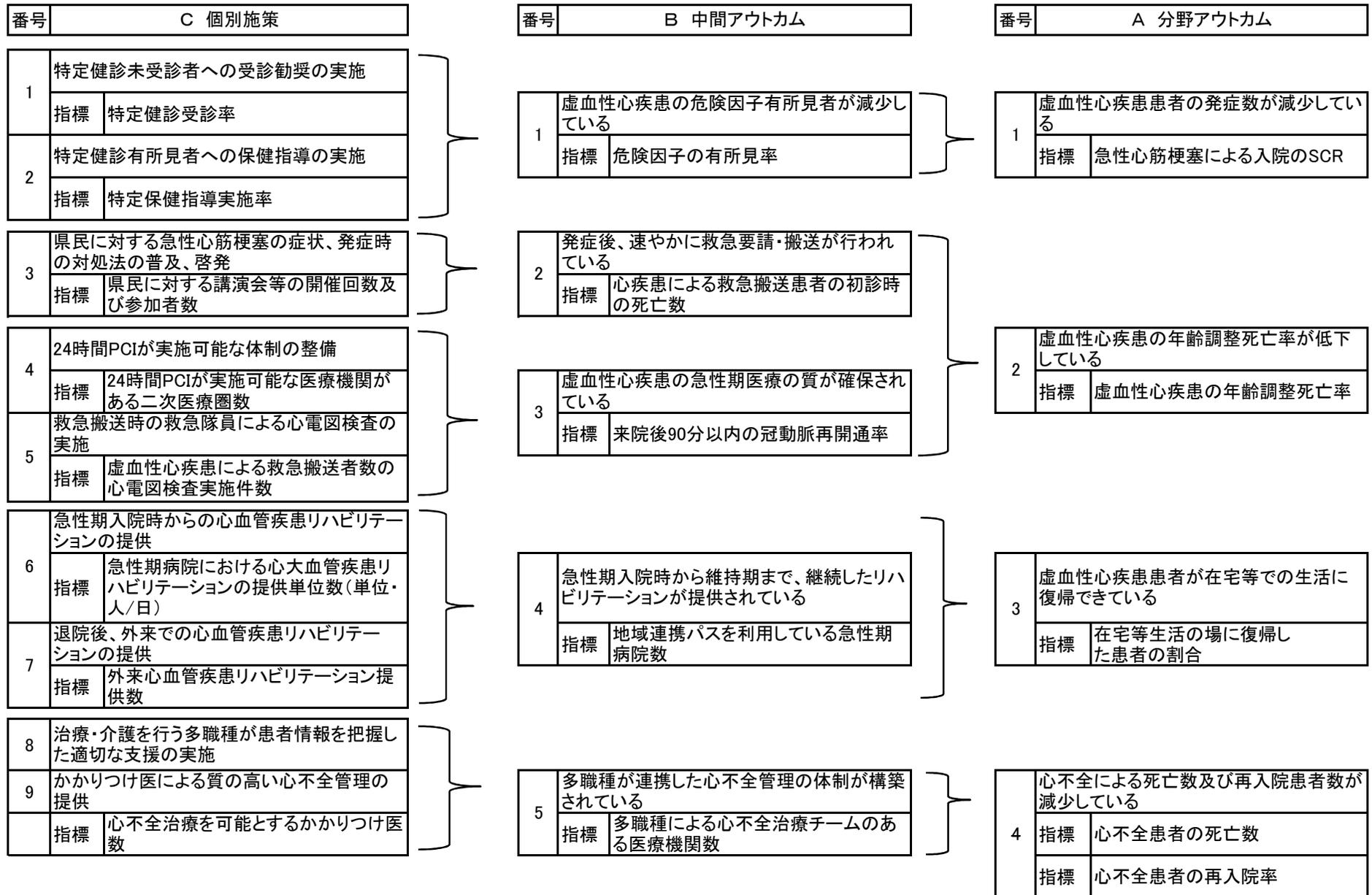
【個別施策】

	指標	現状	目標
7	食塩摂取量 (県民健康・栄養調査)	男性 10.5g・女性 8.6g (2016年)	男性 8.0g未満・女性 7.0g未満 (2022年)
	野菜・果物の摂取量 (国民健康・栄養調査)	野菜摂取量の平均値 271.9g 果物摂取量 100g未満の者の割合 63.3% (2016年)	野菜摂取量の平均値 350g 果物摂取量 100g未満の者の割合 30% (2022年)
	1日の歩数 (国民健康意識調査)	【20～64歳】 男性 7,201歩・女性 6,578歩 【65歳以上】 男性 5,489歩・女性 5,341歩 (2016年)	【20～64歳】 男性 9,000歩・女性 8,500歩 【65歳以上】 男性 7,000歩・女性 6,000歩 (2022年)
	運動習慣者の割合 (県民健康意識調査)	【20～64歳】 男性 19.7%・女性 12.9% 【65歳以上】 男性 34.4%・女性 30.3% (2016年)	【20～64歳】 男性 35.0%・女性 27.0% 【65歳以上】 男性 55.0%・女性 45.0% (2022年)
	適正体重を維持している者の割合(40～69歳の肥満者の割合) (特定健診データ)	男性 31.8%・女性 19.3% (2015年)	男性 27.4%・女性 16.3% (2022年)
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 (県民健康意識調査)	総数 9.1% (2016年)	総数 5.0% (2022年)
8	特定健康診査の受診率 (特定健康診査・特定保健指導実施状況)	46.5% (2015年)	70% (2023年)
	特定保健指導の実施率 (特定健康診査・特定保健指導実施状況)	27.9% (2015年)	45% (2023年)
9	急性期の医療機能を担っている医療機関数 (医療連携体制調査)	13施設 (2017年)	-
10	救急要請から医療機関への収容までに要した平均時間 (救急・救助の現況)	36.7 (2015年)	-

11	回復期の医療機能を担っている医療機関数 (医療連携体制調査)	87施設 (2017年)	-
12	心血管疾患の医療機能を担っている医療機関のピカピカリンク加入率 (県調査)	病院 70.6% 診療所 31.7% (2017年)	病院 100% 診療所 33.2% (2023年)

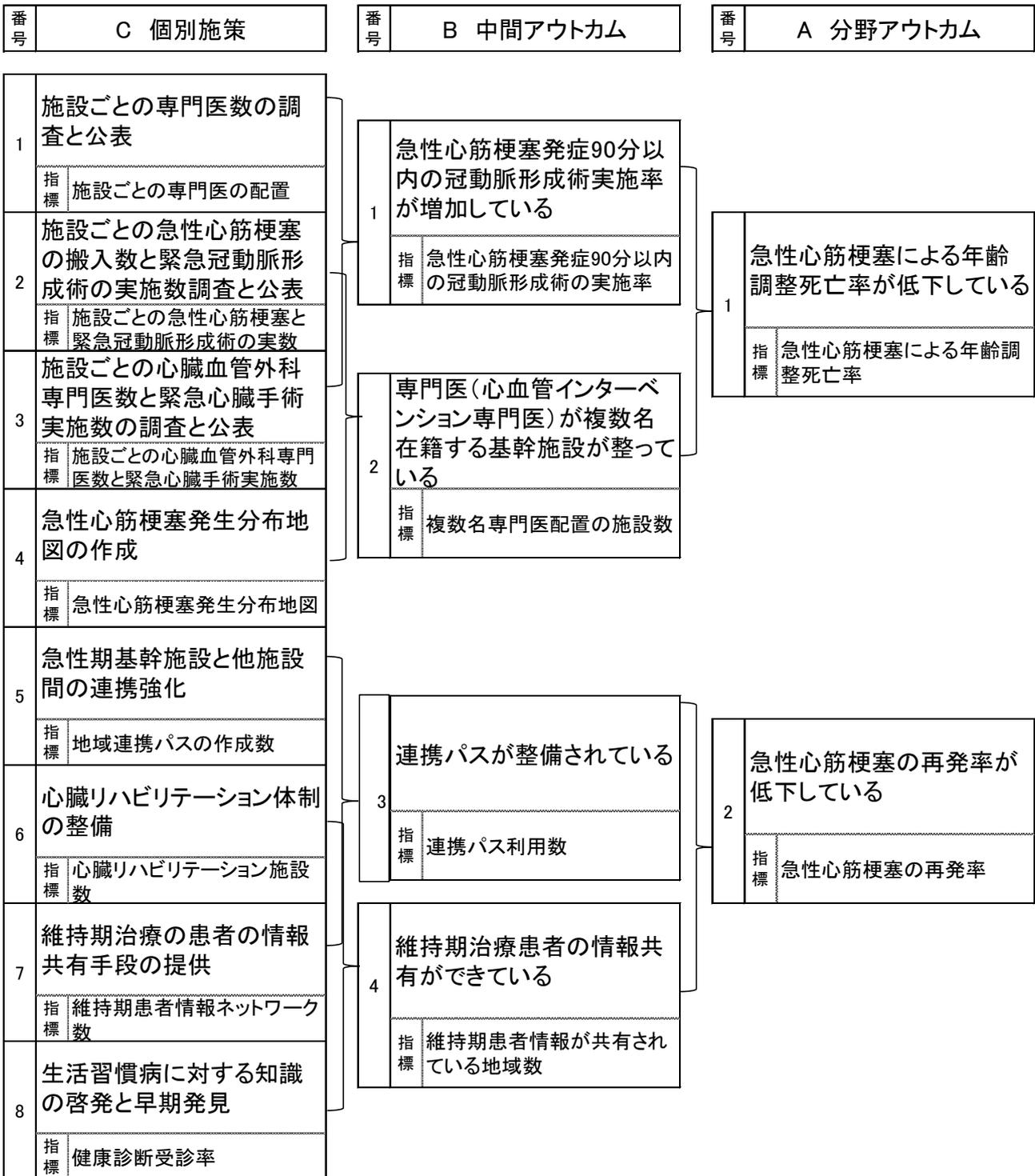
指標の下段の()内は、出典元となる調査名

心筋梗塞等の心血管疾患分野 施策・指標体系図



7. 施策と指標のマップ

図表 1 急性心筋梗塞分野の施策と指標のマップ



8. 指標リスト（定義と説明）

□1 趣旨

下記は、前述の「6. あるべき姿と推奨施策」「7. 施策と指標のマップ」における指標の説明である。

図表 2 急性心筋梗塞 指標リスト

	指標名	指標の定義	備考
A1	急性心筋梗塞による年齢調整死亡率	急性心筋梗塞による死亡率に年齢調整を加えたもの	(O) * 既存
A2	急性心筋梗塞再発率	急性心筋梗塞の発症後 2 年間、5 年間の再発率	(O) 一部要開発
B1	急性心筋梗塞発症 90 分以内の冠動脈形成実施率	急性心筋梗塞と診断された患者の中で、90 分以内に冠動脈形成術を実施された患者の比率	(P) 一部要開発(DPC データ)
B2	複数名専門医の配置の施設数	心血管インターベンション専門医が複数名在籍する施設の数	(S) * 心血管インターベンション学会の保有データ
B3	地域医療連携パス利用数	発症から急性期治療、心リハビリと慢性期維持療法、在宅治療まで、多様な医療機関間の連携パス利用数	(P) 要開発
B4	維持期患者情報が共有されている地域数	心筋梗塞後の慢性維持期の患者情報が地域で共有されている数	(S)要開発
C1	施設ごとの専門医の配置	施設ごとの循環器専門医と心血管インターベンション専門医の配置数	(S) * 学会保有データ
C2	施設ごとの急性心筋梗塞と緊急冠動脈形成術の数	施設ごとの急性心筋梗塞患者の搬入数と緊急冠動脈形成術実施数	(P) 一部要開発 (* DPC データ)
C3	施設ごとの心臓血管外科専門医数と緊急心臓手術実施数	施設ごとの心臓血管外科専門医数と緊急心臓外科手術実施数	(S,P) * 心臓血管外科専門医認定機構の保有データ
C4	急性心筋梗塞発生分布地図	急性心筋梗塞の発生地図及び今後の発生予想の地図	(P) 要開発
C5	地域医療連携パスの作成数	急性心筋梗塞発症から、急性期病院搬送、その後の心リハビリ施設、維持治療、在宅治療と 多施設間で作成した連携パス数	(P) 要開発
C6	心臓リハビリテーション施設数	心リハビリが実施可能な施設数	(S) * 既存
C7	維持期患者情報ネットワーク数	慢性維持期に、クリニックや在宅と多様な施設で管理されている慢性期患者の情報を地域で一元管理するネットワーク数	(P) 要開発
C8	健康診断受診率	動脈硬化の進行を早期に発見する健康診断の受診率	(P) 要開発

(S) : ストラクチャー指標、(P) : プロセス指標、(O) : アウトカム指標、* : 既存指標